

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

<b>学校名</b>	佐賀市立勸興小学校
------------	-----------

<b>1 前年度 評価結果の概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員集団が学校評価の重点取組みをよく理解することで、同じ方向を向くことができた。</li> <li>・「自分で問いをもち、学び続ける児童」を育成することを目標に、校内研を通して教職員が学び続けたことで、つきたい力を明確にした授業づくりを進めることができた。県学習状況調査では、「思考力・判断力・表現力」の向上が見てとれた。</li> <li>・多様な人物や価値観との出会いを通して、多様性を受け入れ他者ともに大切に考えられる教育を展開することができた。</li> <li>・「勸興皆一家」を掲げる地域に支えられた環境の中で、自分らしさを誇り、自立へ向かう子どもの支援を充実させることができた。</li> <li>・業務改善、教職員の働き方改革については、改善はみられるものの、今なお課題が残る。職員自らの改善策を募り、ボトムアップで業務改善を進めるなど、今まで以上の工夫が必要である。</li> </ul>
--------------------------	---

<b>2 学校教育目標</b>	<p>ふるさと勸興を誇りに 個性と創造性に富む子どもの育成          ～勸興魂「勉強はベストをつくし 運動ははたかたになるまで」を校是として～</p>
-----------------	---

<b>3 本年度の重点目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学力向上の推進…「自分で問いをもち、学び続ける児童」つきたい力を明確にした授業、価値ある家庭学習への転換</li> <li>○豊かな心の育成…「多様性を受け入れられる子ども」市民性を育む教育の推進、多様な人(価値)との出会いの促進</li> <li>○基本的生活習慣の確立…「健康や体力の向上を目指す子ども」ゲーム・インターネットとの自律した関わり、歩いて登下校</li> <li>○特別支援教育の充実…「自分らしさを誇り、自立へ向かう子ども」アセスメントの徹底、個に応じた指導の充実、自立活動の充実</li> </ul>
-------------------	---

**4 重点取組内容・成果指標**

(1) 共通評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	取組内容	成果指標(数値目標)	
●学力の向上	○学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○学習内容の定着に向けて「学習課題」を設定する授業実践(年間2回以上)	○学年で選択した教科・領域において、「学習課題」を設定する授業公開を年2回以上行う ○公開授業後の研究会実施(100%)
	○一人一台のタブレットを有効活用した授業実践	○「各学年で身につける操作スキル」当該学年の技能習得の指導 100% ○プログラミング教育全体計画の当該学年の指導内容の履修 100%	○GIGAタイム、チャレンジタイムの確実な実施 ○ICT利活用推進のための教職員向けミニ研修の実施(年10回)
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○多様な人物や価値観との出会いから、自分事としての振り返りができる児童85%以上	○ゲストティーチャー等を招き、多様な人物や価値観との出会いを教育課程に位置づけ、価値ある学びを作る
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○児童、保護者へのアンケートを毎月確実に実施し、管理職・学年で対応する教師90%以上	○確実に丁寧なアンケートの対応 →アンケート実施月内に、聞き取り、解決に導く
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	○校内研修を通して、QUアンケートの集計結果を基に学級のアセスメントを行う。 ○学校評価アンケートに質問項目を入れて集計をする。 ○教科横断的な視点でキャリア教育を推進する。 ○学期ごとのめあてや振り返りで児童のできるようになったことやこれから頑張りたいことについての項目を設け、自己肯定感を高める。
	◎ふるさと勸興を誇りに、自分の夢や目標について考える教育の推進	◎「勸興の良さ」を1つ以上回答できる1～3年生が80%以上 ◎「勸興を誇りに思う」と回答する4～6年生が80%以上	◎児童が地域に学ぶ場、児童の地域における活躍の場、「出番・役割・承認」の場を各学期に1回以上、教育課程に位置づける。 ◎「勸興読本」「さがの人物探検99」の活用
●健康・体づくり	①「運動習慣の改善や定着化」	①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒90%以上	○昼休みに体育館を開放し、運動する機会を増やす。 ○徒歩通学の価値づけおよび奨励 ・全校朝会で啓発 ・学校だより、保健だより、学級だよりで発信(それぞれ1回以上)
	○ゲーム・インターネット・SNSの節度ある適切な使用	○端末を利用する約束を守っていると回答する保護者の割合が85%以上	○情報モラル等の問題を取り上げた学級指導を教育課程に位置づけ実施する ○学級だより等で、保護者に諸問題に関する情報を提供し、啓発する。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	○18時以降の電話の禁止 ○健康観察アプリ「LEBER」での連絡対応(休日や長期休業の対応範囲の共通理解) ○提出期限ボードの活用 ○業務の効率化アイデアの共有 ○職員会議資料のデータ化 ○学期ごとに反省を行い、来年度に向けて行事の精選を行う
	○探さない・切らさない・ためない整理整頓	○各箇所の整理整頓評価をA以上にする。(S・A・B・C・D)の5段階評価	○安全点検の際に安全の視点とは別に整理整頓の視点で点検を行い、室管理者の声掛けで即時に改善を図る。

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	重点取組内容	成果指標(数値目標)	
○特別支援教育の充実	○個別的教育支援計画、個別の指導計画を具現化した教育課程の実施 ○個に応じた自立活動の充実	○個別的教育支援計画、個別の指導計画を有効に活用したと回答する職員80% ○学校のUDや合理的配慮について意識して取り組むことができたと回答する職員80%	○個別的教育支援計画を具現化した教育課程作成のための校内研修開催 ○校内の課題に応じた教職員研修の開催 ○児童の教育的ニーズに応じた学びの場の検討(支援会議の実施) ○個別の指導計画の効果的活用(毎週木曜日) ○校内教育支援委員会の計画的開催に向けた特別支援教育Co.の役割の明確化

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育